

社会的居場所

# わかごぼう



今を変えたい、これから始めたい

## 共に歩む未来への手助け

家とは違う場所へ出かけたらい。

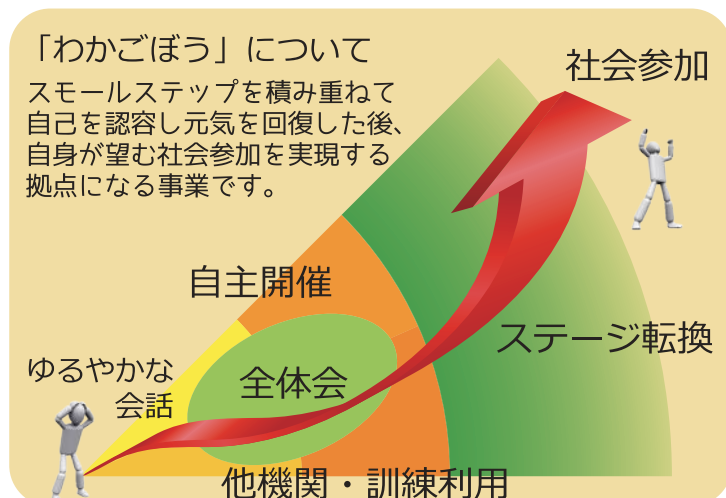
今を変えたいけど、どうしたらいいのかわからない。

そんなあなたに伝えるための社会的居場所です。

お話できなくても一緒に過ごしてみよう。

失敗しても構いません。

そこからたくさんのお話を学べるから。



開催時間：毎週木曜日 14:00-16:00  
開催場所：わかごぼう 八尾市南本町7-6-23  
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

電話：072-992-6921  
メールアドレス：wakagobou@yaops.jp  
受付時間：9:00-17:00（祝日除く月～金）

# ドタバタ終えたらゲーム大会!!

本来10月に行く予定だったボードゲーム大会ですが、野遊祭への出店準備で忙しく実施できていませんでした。

イベントを終えて迎えた11月。前回のボードゲーム大会からわかごぼうに新たなメンバーも増えたので時間を作り第3回ボードゲーム大会を開催しました。

今回遊ぶのは名前をつけて早く呼ぶゲーム。

【ナンジャモンジャ】というゲームを遊びます。



例えば皆さんならこのキャラクターに

ラクターになんとという名前をつけますか?このゲームは山札のカードをめくっていき、出たキャラクターにプレイヤーが名前をつけます。同じキャラクターがでたらつけられたラクターがでたらつけられた名前を叫びます。いち早く叫んだ人がカードを貰えます。一番多くカードを集めた人が勝利するゲームです。

ゲーム序盤ではメンバー皆キャラクターの見た目につられて「くるくる」や「食パン」などのやさしい名前でしたが、

中盤にもなると「聖徳太子」や「田中」など関連性のない名前をつけて翻弄するメンバーも出てきてゲームがより白熱していました。気になったのですが、むずかしい名前を自分でつけたメンバーが名前を思い出せず他メンバーの方が覚えているのはどういった理屈なのでしょう。



「名前を憶えるのが難しかったけど楽しかったです。」  
「自分でつけた名前が意外と憶えられなかった。」  
「楽しくて何回戦も遊んだら前のゲームの時につけた名前とごちゃごちゃになり難易度がめちゃくちゃ上がった面白かった。」

次回のボードゲーム大会は2月15日です。わかごぼうに興味がある方の参加をお待ちしております。体験だけでも可能です。※事前にご連絡ください。

# 今年を表す一文字

## 漢検「今年の漢字」応募用紙

今年の世相を表す漢字一字を枠内に大きくご記入ください。



理由: 阪神で優勝、熊に王冠をかぶせられたため。

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
「今年の漢字」の情報はこちら  
<https://www.kanken.or.jp/kotoshinokan/>

## 漢検「今年の漢字」応募用紙

今年の世相を表す漢字一字を枠内に大きくご記入ください。

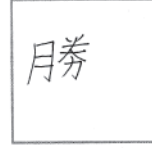


理由: WBC優勝と藤井聡太さんのハゲが印象が深かったから。

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
「今年の漢字」の情報はこちら  
<https://www.kanken.or.jp/kotoshinokan/>

## 漢検「今年の漢字」応募用紙

今年の世相を表す漢字一字を枠内に大きくご記入ください。

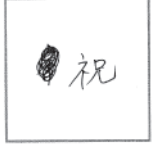


理由: WBC優勝、阪神優勝、コロナ禍引き下げ、藤井聡太さん

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
「今年の漢字」の情報はこちら  
<https://www.kanken.or.jp/kotoshinokan/>

## 漢検「今年の漢字」応募用紙

今年の世相を表す漢字一字を枠内に大きくご記入ください。



理由: 阪神3年ぶり優勝、F1でニールセン100周年、WBC優勝、F1カーワールドカップベスト4

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
「今年の漢字」の情報はこちら  
<https://www.kanken.or.jp/kotoshinokan/>

毎年12月12日(いいじいちじ)になると今年の世相を表す漢字一文字が京都の清水寺で発表されます。2022年の漢字はでロシアのウクライナ侵攻による戦争や、収束することのない新型コロナウイルスとの戦いがピックアップされた。「戦」の一文字が選ばれました。センセーショナルな出来事が人々に強く影響した事で少々ネガティブな印象を受ける2022年でした。

2023年に入ってもロシアとウクライナの戦争は終息目途は立っておらず、10月に入るとハマスとイスラエルの争いが起こるなどネガティブなニュースが続く一方、スポーツではWBCで日本が世界一に返り咲き、藤井棋士が21歳という若さで前人未到の全冠制覇など、ポジティブなニュースもありました。以上を踏まえてメンバー達と今年を振り返り今年と漢字を予想して貰いました。

「去年がネガティブな漢字だったの今年にはポジティブな漢字にしたいな」  
「なんかいま日本各地で出没しているみたいでニュースでやっているから印象深い」  
「1月から振り返ってみるとわりとこれって今年やったん!?って出来事が多かった時間の流れが早いなあと感じました」

# 下準備の大切さ

去る8月、わかごぼうは八尾国際交流野遊祭に出店するお菓子作りに取り組んでいました。

わかごぼうが所在する八尾市南本町には、外国にルーツを持つ人々が数多く暮らしています。そんな人たちと交流を深めるために、毎年10月、この地域では「八尾国際交流野遊祭」が開催されています。

わかごぼうは過去にも出店し、今年はスペイン生まれの幸せを運ぶクツキー「ボルボロンクツキー」を販売することにしました。

## しあわせを運ぶ言い伝え

ボルボロンクツキーは、スペインのアンダルシア地方発祥の伝統菓子です。アーモンドブードルとバターをたっぷり使

## レシピは簡単

50グラムの薄力粉

をきつね色になるまで

火を入れます。常温に

戻した50グラムの無塩

バターをクリーム状にな

るまで練り、そこへ30

グラムの粉糖を入れて混

ぜます。混ぜたらきつ

ね色になった薄力粉と5

0グラムのアーモンド

ブードルを入れて生地が

馴染むまで混ぜます。

ここで普通のクツキー

と大きく違うのが、普通

のクツキーの場合、生地

がまとまりやすく成形し

やすいですが、まとまる

ための成分をなくしてい

るため生地が全くとま

らず、ボロボロと崩れ非

常に成形しづらく、なん

とか力技で形にし、冷蔵

庫で約二時間冷やしま

## 焼くと飛ぶ風味

本格的にクツキーの準

備をするのはイベント一週

間前なので、それまでに何

度か試作品を作ります。

一度目はレシピ通り

作ってみました。時間は

掛かりましたがとても美

味しいボルボロンクツ

キーが出来上がり、これ

は販売出来る美味しさだ

と感じました。

ですが、メンバー達は、

「もう少し味のバリエー

ションが欲しい」と感じ

た様で二度目の試作では

生地にイチゴ、抹茶、ココ

ア、むらさき芋、かぼちゃ

等のパウダーを入れて作っ

てみましたが、ほとんど味

に変化が無く唯一、抹茶に

は味がついていてとても美

味しかったので、プレーン

味と抹茶味の2種類を作

## 目立つそれが大事

次に出店テントのレイア

ウト作りに取り掛かりまし

た。去年は画用紙に手書

きで商品名や値段を書い

ていたのでお客さんの目に

届かず売れ行きが良くな

かったのです、その反省を活

かし、商品名は二文字一文

字印刷し、ラミネート加

工。値段はカラー画用紙

に印刷。商品紹介のポツ

プまで作りしました。

そうこうしているうちに

本番一週間前。何度も練習

した通りにボルボロンクツ

キーをひたすら作成し、2

日掛け240枚のクツキー

を作りました。作ったクツ

キーを前日ぎりぎりまで袋

詰めし、冷蔵庫に保管して

これで後は本番当日を待つ

のみとなりました。

## 練る・冷やす・焼く



# 野遊祭本番当日

天気にも恵まれた本番当日。

朝早くからメンバー達が集まり、イベント会場まで、荷物を運びます。ちょっと眠そうな顔のメンバーもいますが、体を動かしている内に目が覚めるでしょう。会場に着くとテントを設営します。

これがまたなかなか難しく説明書がないので「こっちは伸ばすんじゃない?」「こっちはボタンありますよ」「こっちは伸ばす!」「これ結ぶの?」となんとかすたもんだしながらテントを立てられました。



力を入れて作ったレイアウトもいい感じ!!



接客役はちょっとした仮装もしてみました



## 痛恨の撮り逃し...

イベント開始時間は

10時なのですが、開始時間前から会場内は人の賑わいで喧騒していました。そんな中スタッフが周りの参加者に挨拶をしに販売ブースをほんの数分離れて戻って来ると、メンバーから「さっき一個売れました!!」と喜色

満面に溢れた表情で報告を受けました。

「ええっ写真撮り逃した〜」と少し落ち込んでいると「買ってくれたのはS君です」ど

うやらメンバーのS君がボルボロンクッキーを食べたくなり自分で買ってくれた様子。

それならと買った様子をリプレイして貰い写真を撮らせて貰いました。



そんなちょっとした茶番をしていると、今度こそ本当のお客さんが来られました。メンバーのおかげでコミュニケーションが出来ていたのでスムーズに商品の交換ができていて思わぬ副産物が得られたようです。

## メンバー達の感想

**K.M君**「二度買ってくれたお客さんが、もう一度買いに来てくれてとても嬉しかったです。」「去年よりも声をだす事ができてよかったです。」「あとお昼に食べたバインミーが野菜たっぷり美味しかったです。」

**T.S君**「ひよつとしたら早くにクッキーが完売して予定より早く終わるかなと思っていました。甘かったです。思うように売れず値下げしたにもかかわらず売れ残ってしまいました。それでも買ってくれた人は多かったですし初めて接客をしていい経験になったと思います。」

**M.Nさん**「テントの設営から始まり、クッキーの販売をしました。初対面のひとともコミュニケーションをしながらだったので、どうしたらいいのか戸惑う場面もありましたが困った時は助け合い自分の出来ることは出来たと思います。」

みんなそれぞれ頑張って野遊祭に向けて準備したり当日も先輩や色んな人が関わってくださりいい経験になりました。」

**M.S君**「イカ焼きとフランクフルトとクレープを食べました。クレープが美味しかったです。」

# 秋の味覚を満喫したい!!

食欲の秋が訪れたわかごぼう。ある日の会議で「果物狩りに行きたい」という企画が提案されました。

その企画に他メンバー達も賛同し「りんごとかどう?」「ぶどうとかもありますよ」「それ場所どこ?」「和歌山」「奈良です」「遠くない?」「みんなで行くなら府内の方がよさそう」「府内ならやぶ果樹園ってところありますよ」「ここパーベキューも食べられるみたい!」「果物はみかんですね」いっになくメンバー達が多弁で会議が発展していき「みかん狩りとパーベキューを食べる」企画が成立しました。

## 風に運ばれてきた香り

イベント当日、9時に八尾を出て1時間半電車に揺られて着いたのは貝塚市。

そこから、ワンマン電車に乗り三ヶ山口駅で電車を降り改札を出て山道を歩くこと20分。

山の方へ進むと目の前が大きく開けました。

そこにはみかんの成る木がいっぱいあり、少し冷たい風が柑橘系の香りを運んで来ていてとても良い香りのする果樹園にたどり着きました。

この果樹園はもぎたてのみかんを食べる事もできる様で、早速もぎたてを一口食べてみます。



とっても甘くて美味しいみかんでした。このあとパーベキューがあるのに3つも食べてしまいました。

あっという間に時間が過ぎ、お昼ご飯の時間です。予約していたパーベキューを食べに場所を移動します。果樹園から少し離れた場所へ案内されると、先ほどのみかんの香りから、一気に焼き肉のいい匂いが漂ってきます。席に着くと旬の野菜と3種のお肉が運ばれてきました。



メンバー達が黙々と食べる中、親指を少し焦がしながらメンバー達がおいしそうに食べるのを見ているとそれだけでお腹いっぱいになるスタッフでした。遠い所まで来た外出企画でしたが、皆、疲れた様子は無く楽しんだ様です。

## メンバー達の感想

「初めて企画するところから、計画を実行するまでを経験できて少しだけ達成感があります。」

「当日は天気も良くてみかん狩りが出来て楽しかったです。」「パーベキューも美味しかった!」

「待ち合わせ時間の9時よりも早く到着。自分としては少し頑張りました。その後、1時間ほど電車に乗ったら随分と疲れてしまいました。三半規管が弱っていたのかも知れません。」

「果樹園では小さきままなみかんがなっていてどれを収穫するべきか悩みました。カゴいっぱいのみかんを収穫したので満足です。」「パーベキューではお肉を一杯食べてやるぞ!!と意気込んでいましたが、すぐにお腹が膨れてしまい肉よりもキャベツを食べる事が多かったです。」

## 11月28～30日

みかん狩りに行った翌週  
わかごぼうメンバー達は緑  
地公園に集まっていました。

何をしているのかとい  
と、11月に行うコンテツ企  
画会議の時にあるメンバ

「〇〇を食べる。」  
という企画を提案していま  
した。

その企画を実行するにあ  
たって必要な材料がこの緑  
地公園にあるので収穫しに  
来たというわけです。

この日は冬に入って一番と  
言ってもいいほど風が強くと  
気も移ろいやすい日でした。

そんな中でも、メンバ  
達は企画を成立させるため  
寒さに耐えながらあるもの  
を探していました。  
それは……。



## どんぐりです

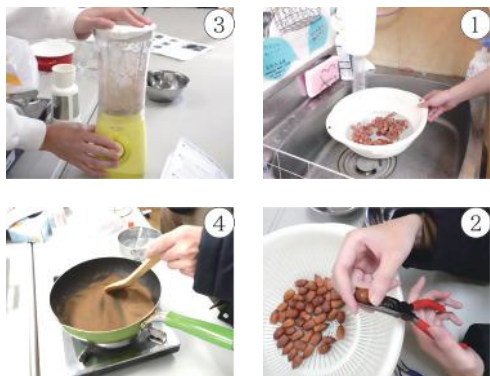
みなさんはどんぐりを食  
べた事ありますか？。

調べてみるとどんぐりには  
食べられる品種「マテバシイ」  
というものがあ、それを砕い  
てクッキー生地として混ぜた  
り、コーヒーに加工したりす  
ると食べられる様なのです。

どうやらメンバーは知ら  
ずに提案してみたようですが、  
調べてみると意外と食べられ  
る様でしたので、今回は同時  
に行うチーズフォンデュの飲  
み物としてどんぐりコーヒ  
ーを作ることにしました。

ネットの情報によるとど  
んぐりコーヒー3人〜4人  
前に必要などんぐりのグラ  
ム数は300グラム。

どんぐりが落ちる時期が  
11月上旬なので拾う時期と  
しては大分遅いですが、手  
分けしてどんぐりを拾うと  
意外と一杯拾えたので後は  
これを加工するだけです。



- ①拾ってきたどんぐりを  
水に漬けて浮いてきたどんぐりは  
(中身が腐っているもしくは虫に  
食べられているため)捨てる。
- ②どんぐりの中身を取り出す  
ためベンチで殻を剥く。
- ③中身をミキサーで細かく砕  
きます。
- ④細かく砕いたどんぐりをフ  
ライパンで炒り、炒った粉を  
ティーパックに入れて水から  
煮だすとどんぐりコーヒーの  
完成です。

## メンバーの感想

身近な木の実であるどんぐ  
りを食べるという発想が出てき  
たのはつい最近のことでした。

野食系 YouTuber がどんぐり  
を調理して食べる動画を見たか  
らです。縄文時代から、当時の  
人々が食べていたのは知識とし  
て知っていましたが、今の今ま  
で食べ物と認識していませんで  
した。どんぐりコーヒーの味は  
なんだか薄いお茶のようで悪く  
なかったです。

コーヒーが苦手な僕でも問題  
なく飲めました。一緒に食べた  
チーズフォンデュとチョコフォ  
ンデュは美味しかったです、  
カロリーが高すぎて辛くなって  
きました。まだまだ若いつもり  
ですが身体は正直です。

どんぐりを拾いに行く段階  
からどんぐりコーヒーの企画に  
参加したので、実際に出来上  
がった時は嬉しさがひとしおで  
した。大人になってもどんぐり  
を拾うことで楽しみに幸せにな  
れる事を体感できて良かったで  
す。秋も感じられていい思い出  
になりました。



# こんな企画もやってみました SP

社会的居場所わかごぼうでは2ヵ月に一度わかごぼうの活動を皆さんに知ってもらう為に「わかごぼうニュース」を発行しています。そんなわかごぼうニュースですが、紙面の都合により泣く泣く掲載出来なかった企画が沢山あります。そんな企画（主にスタッフの気持ち）を供養したいので今回は、そんな企画の中から、いくつかご紹介したいと思います。

6月1日～6月18日

## 生駒山上遊園地で手づくりホットサンドを食べる



この企画は現役メンバー達が6月18日に予定されている「生駒山上遊園地」に参加する引退生メンバー達の為に2週間ホットサンド作りを練習し、イベント当日朝7時半からお弁当作りをするという内容の濃い企画でした。現役メンバー達が作ったホットサンドも好評でしたし、生駒山上遊園地もとても楽しかったのですが、このコンテンツを掲載する予定だった7月8月号では外出企画が多く、ボードゲーム大会や体力測定企画なども大きく盛り上がったため、泣く泣くこの企画は掲載しませんでした。

## 9月12日 志紀拠点レイアウト設置の依頼



この企画は居場所事業とは別の事業の相談拠点が新たに設置される事になり、わかごぼうメンバーにレイアウトの設置をしてほしいと依頼がありました。その依頼を受けメンバー達が新拠点でカーテンの設置や、床の傾きチェック、電灯の設置などを実行したイベントです。この先一人暮らしをする際に内覧で気を付ける場所などを教えて貰ったりしていましたが、単純に記事化する事が難しく掲載しませんでした。

## 11月14日 出張わかごぼうイベント（散歩編）



この企画は居場所事業とは別の事業の就労相談員の方たちに協力してもらって実施した企画です。現在わかごぼうに通っている方たちや就労相談員に訪れているけど、就労まで少し時間が掛かる方たちとで交流を回り、わかごぼうメンバーや相談者にもいい影響があればと思い実施しました。わかごぼうニュースに掲載出来なかったのは単純に紙面の都合上枠がなく乗せられなかっただけで、大変楽しかった企画でした。